

## Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

## マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、公表されたブラジル10月サービス業購買担当者景気指数(PMI)が、8ヶ月連続で拡大・縮小の分岐点となる50の水準を下回る43.0を記録するなど、ブラジル経済の低迷ぶりが改めて浮き彫りとなったものの、ブラジル中銀によるドル売り介入の効果もあり、ドル売りレアル買いが優勢の展開。3.78台前半で取引を終えた。中銀は、今週2度目となる5億ドルの買戻し条件付きドル売り介入を実施(期日は来年1月4日、及び4月4日)。足許のレアル安を牽制している側面もあるが、外国企業が本国に利益を送金する(リパトリエーション)ためのドル需要(一般的に年末にかけて需要は増加する傾向にある)に対応するという狙いもあると推測される。一方、米国では新規失業保険申請件数が公表され、27.6万人を記録(5週ぶりの高水準)。4日のADP民間雇用者数とは相反する数字となっており、雇用を巡る見方に依然として不透明感が残っているが、その点を見極めるためにも、本日公表される10月雇用統計への市場の注目度は高まっている。

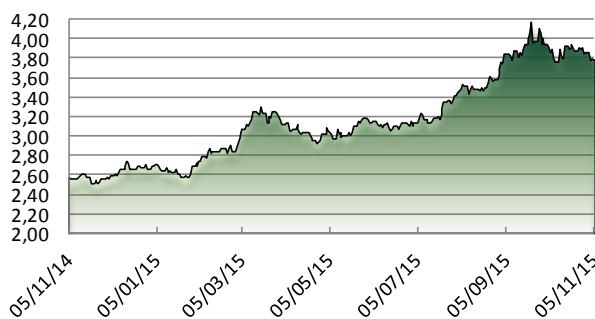
ブラジル中銀のAltamir Lopes経済政策局長は昨日、「2017年にインフレ率を目標の中心値である4.5%に収束させるために必要な措置を講じる」との考えを示した。「インフレ圧力が今後も沈静化しない場合、中銀は追加利上げに動く可能性がある」という姿勢が示唆されている。

## マーケットデータ

| Indicator                      | Unit  | 11月4日  | 11月5日  | 前日比    | 10月5日   | 1ヶ月前比  |
|--------------------------------|-------|--------|--------|--------|---------|--------|
| レアル                            | 対ドル   | BRL    | 3,7998 | 3,7800 | -0,0198 | 3,9114 |
|                                | 対円    | JPY    | 31,99  | 32,21  | +0,22   | 30,80  |
|                                | 対ユーロ  | BRL    | 4,1265 | 4,1155 | -0,0110 | 4,3768 |
| 円                              | 対ドル   | JPY    | 121,57 | 121,75 | +0,1800 | 120,46 |
|                                | 対ユーロ  | JPY    | 132,09 | 132,51 | +0,42   | 134,77 |
| Bovespa (ブラジル株価指数)             | Index | 47.710 | 48.047 | +337   | 47.598  | +449   |
| CDS Brazil 5yrs (クレジット・フルストップ) | bps   | 392,0  | 399,4  | +7,4   | 412,3   | -12,9  |
| Brazil 10yrs Gov. Bond         | %     | 15,45  | 15,53  | +0,08  | 15,34   | +0,19  |
| DI Future Jan17 (金利先物)         | %     | 15,35  | 15,37  | +0,02  | 15,40   | -0,03  |
| 3 Months US Dollar Libor       | %     | 0,337  | 0,337  | +0,000 | 0,323   | +0,014 |
| CRB Index (国際商品指数)             | Index | 194,1  | 192,4  | -1,7   | 196,4   | -4,0   |

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

